

社会福祉法人 白陽会

つるかめ

《理念》 明るく 楽しく すごせる毎日

No. 32

2016年1月29日発行

社会福祉法人 白陽会

〒146-0093

東京都大田区矢口1丁目23-12

TEL 03-3758-1810

FAX 03-3758-1815

編集 広報委員会

発行 理事長 酒井 陽太

新年の抱負

『歳をとり死ぬという約束なしに生まれけり』
年をきた父母の介護は、将来の自分の姿を見る
ようです。最高の施設でなくともご利用者とご
家族、そして働く人の三方に求められる施設で
ありたいと思います。

理事長 酒井 陽太

新年とはいえ、昨日の続きを今日始め
ているだけ。今年は『断捨離』生活をし
よう。宇宙には何もないエンpty空間
があり、それを埋めようとする法則があ
る。物や思考など、新しいものがジャン
ジャン入ってくることを期待して！

部長 小池 和江

今年の挑戦を「安心」にしたいと思ひ
ます。昨年は介護業界においてもいろ
んなニュースがありました。ご利用者の
安心を第一に考え、ご家族、職員にと
つても安心していただける施設作りを
目指します。力不足の点もあるかと思ひ
ますが、どうぞよろしくお願いいたし
ます。

部長 志田 宏喜



白陽会にきて初めての新年を迎えました。
社会福祉法人が高齢者介護を担うことの社
会的意義をふまえ、法人として力をつけな
ければならないことの重要性を日に日に感
じています。私のいままでの経験を生かし白
陽会が一層強い社会福祉法人になれるよう微
力を尽くしたいと考えています。

常任顧問 岩瀬 一徳

新しいことに挑戦します！
何をやるか、判断基準は？

「職員のモチベーションUP」 & 「地域貢献」
個人の挑戦は⇒「ロードバイクで九州横断」

施設長 旗野 章

中央の写真は、当施設から徒歩5分ほどの場所にある新田神社のご
神木（推定樹齢700年のケヤキ）です。同神社は今年鎮座658年を
迎えられましたが、ケヤキは神社ができる前からこの地に根を張り、
戦争や天災などを乗り越え、人々を見守ってきました。

白陽会もこのケヤキのように、介護業界において
どんなときも、地域の皆さまの生活を守り支える
存在となるよう、これからも日々努力して
まいります。本年もよろしくお願いいたします。



【お知らせ】

平成27年11月9日法人理事会において、理事・評議員・施設長を兼務していた伊藤秀夫が辞任し、後任に理事・評議員・常任顧問として岩瀬一徳、施設長として旗野章が就任いたしました。

特別養護老人ホーム
ゴールデン鶴亀ホーム



当施設でも敬老会を開きました。喜寿や米寿といった節目の歳になる方の紹介を行い、長寿のお祝いをしました。別の日にも東京都社会福祉協議会の方が来られ、お祝いをいただきました。



メリークリスマス!



年の瀬の恒例行事、クリスマス会を開きました。職員はサンタやトナカイの衣装を身に付け、クリスマスムードを盛り上げます。会はボランティアによるコーラス（普段はオカリナを定期的に披露してくれています）、職員によるハンドベルの演奏で大いに盛り上がりました。ご利用者の中には「こんな素敵な会、見たことがない」と涙を流す方もいらっしゃいました。プレゼントこそありませんでしたが、おやつにはケーキを食べて楽しいひと時を過ごしました。



敬老の日って どんな日なの？

敬老の日は「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨としています。

2002年までは毎年9月15日が敬老の日だったのですが、ハッピーマンデー制度により2003年からは9月の第3月曜となっています。

もともとは1947年に兵庫県多可郡野間谷村の村長と助役が提唱した「としよりの日」が始まりです。「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」との考えにより、農閑期であり気候も良い9月中旬である15日を「としよりの日」として敬老会を開いていました。

1950年になるとこの制度は全国的に広がり、「としよりの日」の表現は良くないとのことで1964年には「老人の日」と改称されて、翌年には国民の休日にあたる「敬老の日」に制定されたのです。

HAPPY NEW YEAR!!

～ 2016 ～

明けましておめでとうございます。

新しい年の始まりです。皆さんはどんなお正月を過ごされましたか？ご利用者の多くは外出することが難しいので、施設内に

設営された鶴亀神社で参拝をしました。おみくじも置かれており、皆さん真剣な表情で引かれています。

「宝くじが当たるかも」「美味しいものが食べられる」といったくじを引いて、ニヤリとしていました。

今年も1年、皆さんで元気よく過ごしましょう。



毎年恒例

初詣

高齢者在宅サービスセンター

やぐち南

今年も1/4~1/11の午後の時間に4~5人ずつのグループで、近くの新田神社へ初詣に行きました。

今年のお正月は暖冬で例年に比べ暖かく、お天気に恵まれた外出となりました。さて、初詣に行かれる人は「神社かお寺のどちらに行くのが正しいの?」なんて思われる方もいらっしゃるよな?実はどちらでもOKなのだそうです。

というのは、明治時代初期に神仏分離が行われる前は、神道と仏教などが一体化した神仏習合による信仰が一般的でした。その風習が定着したため初詣に限らず、寺社仏閣への参詣に神道・仏教の区別はないまま定着したといわれています。

各家庭での考え方もあると思いますが、自分がお参りしたい「〇〇のご利益」がある神社やお寺に初詣に行くのが良いのでは?

ちなみに新田神社は「恋のご利益」があるそうです。



『健康長寿』を願って
ご神木にタッチ



今年も1年
良い年になりますように...



クリスマス会



12月18日、19日でクリスマス会を行いました。クリスマスメニューやハーブ・オカリナの演奏、職員イベントなどを楽しんでいただきました。

皆さまと一緒に作ったお正月飾りを、クリスマスにお持ち帰りいただきました。



2月3日は

節

分

昔は季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられていて、季節が変わる前に邪気を払うため、「追儺(ついな)」という宮中行事が行われていました。「追儺」は「鬼やらい」とも呼ばれ、その行事のうちの「豆打ち」が「豆まき」のルーツだといわれています。

節分に向け、皆さんで鬼のお面を作りました。1つひとつ個性溢れた作品が完成し、やぐち南ではこの鬼たちが私たちを守ってくれそうです。



♪ご見学、ご利用を
ご希望の方♪

担当：濱田まで

～見学時、送迎いたします～

TEL 03-5741-3322

◆「通知カード」は届きましたか？◆

(マイナンバー制度のお知らせ)

マイナンバー制度は2016年1月以降

- ① 所得税や住民税などの「税」
- ② 年金や雇用保険などの「社会保障」
- ③ 被災者台帳などの「災害対策」

以上3分野で順次、利用がスタートしています。大田区(介護分野)では、要介護認定や介護保険負担限度額認定書などの申請において、マイナンバーの記載が求められます。

詳しくは、大田区マイナンバーコールセンター (TEL 0570-03-3370 平日:午前9時~午後7時/土・日、祝日:午前9時~午後5時)へお問い合わせ下さい。



【今回のテーマ】

ノロウイルスに

ご注意!

~貰わない・広げない~

ノロウイルスによる食中毒は、人から人へ強い感染力を持つことが特徴です。嘔吐や下痢、激しい腹痛を引き起こします。今回はノロウイルスを貰わない・広げない為の予防法をご紹介します。

【研修の様子】



- 1) 食品はしっかり加熱
- 2) 石鹸による手洗い
- 3) 症状が出たら、すぐ病院へ行く

*当施設でも、職員に向け定期的に研修(嘔吐物の処理方法など)を実施しています。

高齢者見守りキーホルダー

~登録会をしました~

“高齢者見守りキーホルダー”は、あらかじめ緊急連絡先などを登録することで、外出先で緊急搬送や保護された際に、医療機関や警察からの照会に対して迅速に情報提供することができます。

(対象は大田区内に住所を有する65歳以上の方)

* 今回は、下丸子4丁目のザ・リバープレイス自治会のご依頼で、見守りキーホルダー登録会を1月20日(水)10時~12時に行いました。

* 自治会の皆さまのご協力で、50名弱の方に参加していただきました。

* キーホルダーを作りたい方、キーホルダー登録会をご希望の方は **さわやかサポートやぐち** にご連絡下さい。



キーホルダー登録や登録会開催は **無料**です!

TEL 03-5741-3388
さわやかサポートやぐち

編集後記

平成28年は「丙申(ひのえさる)」と呼ばれ、一般的に“物事の形が明らかになる、気付く”年といわれています。良い意味にとると、これまでの努力が形になる、評価される1年。何かを続けていくことは難しいことですが、丙申の今年、形になることを信じてもう少し続けてみましょう!(途中で諦めた方、復帰してみてもは?)

今回の題字

遠藤 ^{みつこ} 琺子様 (96歳)

今回の題字は、ショートステイとデイサービスをご利用されている遠藤様にお願ひしました。「書けないわよ~」とおっしゃいながら、すらすらと筆を進め、練習なしの本番1枚で見事な書を披露して下さいました。



居宅介護支援事業 ケアプランたんぽぽ

* ケアプランたんぽぽでは、要

* 介護認定を受けられたご利用

* 者・ご家族からのご相談を承っ

* ております。ヘルパーさんに来

* てほしい、デイサービスに行き

* たい、こんな福祉用具を利用し

* たい、など どんなことでも結

* 構ですので、どうぞお気軽にご

* 相談下さい。

TEL 03-5741-3366

担当: 齊藤(さいとう)

三山(みやま)

* * * * *